

< 2010年度研修実績 >

1) 【第1回 AHA コアインストラクターコースが開催されました】

9月11日 第1回 AHA JSISH-ITC 主催 AHA コアインストラクターコースが松本尚浩先生(AHA JSISH-ICT ファカルティー、筑波大学附属病院麻酔科)により開催されました。医師、看護師、臨床工学士、検査技師が講義や少人数討論により、インストラクターとして非常に重要なコミュニケーションやフィードバック能力等につき1日学びました。このコースを受講することにより、AHA のコースインストラクターとしてだけでなく、日頃の医療現場での指導、支援場面できっと役に立つ技能を身に付けることができましたと思います。今後、当センターでは各領域の指導者の養成に力を入れていく予定です。是非多くの方々の参加を期待しています。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



2) 【2010年度近畿・中部出張研修が開催されました】

本年度1回目の出張研修が7月29日、30日大阪、大手前病院において行われました。大手前病院、名城病院、六甲病院、枚方公済病院より研修医10名、看護師28名を受講者に迎え、患者急変対応コース、人工呼吸器トラブルシューティングコース、透析時患者対応コースの3つのオリジナルシナリオコースとAHABLSの研修を行いました。様々なコースの受講生からは今まで間違っていた知識や不足していたことが良く学べた、自己学習できた、コミュニケーションの重要性を学べた等好意的な評価を頂きました。さらに今後も是非出張研修を続けてほしい、次回は自分の病院に来てもらいたい等の意見を

ありました。

大手前病院、六甲病院、枚方公済病院の各病院の院長、副院長、診療部長、事務部長、看護部管理者の方々とも意見交換を行い、今後のシミュレーション教育の在り方について前向きなご意見を頂きました。

今後、北海道、九州・中国・四国地区への研修が予定されており、オリジナルシナリオによる研修を主に行ってまいります。

皆様のご参加をお待ちしております。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



3) 【第7回 HDLS コースが開催されました】

6月27日、コースディレクター香取医師（横浜栄共済病院）のもと、第7回目のHDLSコース（透析患者急変対応コース）が開催されました。

今回の参加チームは横須賀共済病院透析室のスタッフ6名（臨床工学技士5名、看護師1名）でした。

皆さんの日頃の臨床業務が、非常に高いレベルで遂行されているのが伺えた内容でしたが、それでもコース終了後での感想では、「ノンテクニカルスキルの大切さが改めて知

ることができた」、「今回身に付けたスキルは透析業務だけでなく、他の業務でも活用できると感じた」、「大変有意義な1日を過ごせた」と高い評価をして頂きました。

今後とも多くの施設の皆さまへ御参加して頂けますよう、コースの質向上に努めて参ります。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



4) 【第5回医療安全管理者研修が実施されました】

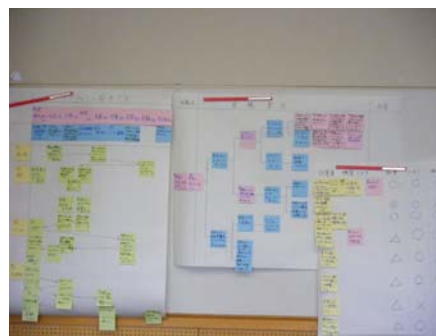
第5回医療安全管理者研修が今回場所を代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに移し6月21日～25日まで開催されました。

今回も例年の内容を引き継ぎ、目標を「臨床の場における医療安全を広い視野を持ってマネジメントできる人材を養成すること」としスケジュールを作成しました。今後安全管理の役割を担うことが求められている人に、医療現場での質・安全確保に関する広い知識の伝播に多くの時間を割きました。

受講者からは研修の時間について問題はなく、内容についても概ね良好な評価を得ました。時間が短い、もっと聞きたい等の項目も多く、逆に内容が多く、時間に追われ休憩が足りないとの指摘もありましたが、この研修で種々のことに気付かされ頭がクリア

になり、今後の役に立つ等全体として満足できるとのことでした。しかし、受講者の多くから、未だ自院の安全管理体制に満足できず、職種により安全に対する意識が低く、一部の職種だけが懸命になっている状況が伝わってきました。今後の研修では知識のみならず各病院での課題を明らかにし、それに対する対策を導き出すための力をつける内容を盛り込んだ研修にしたいと考えています。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



5) 【レールダルメディカル本社より見学者が来日しました】

6月8日、レールダルメディカル本社（ノルウェー王国）より2名の現地スタッフがKS-labへ見学に訪れました。

目的は、日本国内の医療シミュレーション教育実態と、自社製品の使用状況の調査であり、KS-labを含めた国内4施設（医科大学の2施設、企業の1施設）のシミュレーションセンターを見学し、KS-labでの医療の質と安全向上を目的とした医療シミュレーション教育に大変感心され、帰国されました。

レールダルメディカル本社による日本国内調査は初とのことであり、KS-labを選んでくれたことは大変名誉なことだと感じた1日でした。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



6) 【第1回臨床研修指導医養成講習会が実施されました】

第1回国家公務員共済組合連合会病院臨床研修指導医養成講習会が6月5～6日、地域医療振興協会地域医療研修センター長名郷直樹先生を企画責任者に迎え国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。全国の9共済病院より46名の受講者と、6共済病院より10名のタスクフォースに参加して頂き、夜の意見交換会を含め2日間熱気あふれるレクチャー、質疑応答、グループワーク、討論、発表、総合評価、アンケート、感想発表等が行われました。全体として振り返ってみると受講者の多くは、現在の研修制度に戸惑いを感じており、今回の研修は役に立った、満足しているとの声が多く聞かれました。新しい教育手法が本当に良いか否かは疑問を持ちつつも知ることができて良かったとの感想も多く、この研修は今後も続ける必要があると感じさせられました。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



7) 【2010年度 新人研修医研修が実施されました】

第5回新人研修医研修が4月2日実施されました。今回は8病院(東北公済病院、九段坂病院、立川病院、東京共済病院、横浜南共済病院、横浜栄共済病院、平塚共済病院、虎の門病院)43名の参加者に、47名の指導医で行いました。

挿管、CV挿入、腰椎穿刺、動脈採血、血管確保、縫合、BLSの7つの研修が実施されました。今年度のICLS研修は5～6月に行なう予定にしております。

午前中は強い風が吹きましたが、満開の桜に囲まれた気持ちの良いラボセンターで、頭と身体を使った研修が行われ、研修医からは自分がいかに実技ができないかということと指導医の研修に対する情熱を感じてもらうことができました。2年間の研修中にさらに多くのプログラムを通して自ら気付くことで臨床能力を高めて頂く予定です。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元

